

中世から近世・近代へと展開していく日本の教育の歩みを俯瞰するものとして、当館所蔵の謙堂文庫コレクションおよび府川コレクションから、合わせて数十点を展示します。

謙堂文庫コレクション

教育史学会初代代表理事であった石川謙が生涯にわたって蒐集したコレクション。平成24年(2012)秋、昭和46年(1971)以来の歴史に終止符を打ち、東京・池袋の謙堂文庫が閉鎖されました。その後、3万点余りの文庫所蔵資料のうち、3000冊余りの往来物類は主として東京書籍が運営する東書文庫に、また、2000冊余りの往来物以外の和本・書画・資料類、そして3000冊余りの日本教育史関連洋本などは横浜国立大学附属図書館に移管されました。

府川コレクション

府川コレクションは、国語教育学者の府川源一郎本学名誉教授(現在、日本体育大学教授)から、平成28年(2016)春に寄贈された約3000冊の明治初期国語教科書類、子ども向け読み物・翻訳啓蒙書・掛図類などからなるものです。教科書コレクションといえば東書文庫が知られていますが、検定申請本が中心です。これに対して府川コレクションは、実際に子どもたちの手に取られた市販本という特徴があります。



横浜国立大学附属図書館企画展示 伝統社会の教育から 近代教育への変容

平成28年(2016)
10月1日(土)～11月10日(木)
(10月3日(月)はのぞく)